

---

# 2020年7月期 第2四半期決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



---

証券コード: 6267

---

# 目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2020年7月期第2四半期決算概況
- III. 2020年7月期通期業績見通し
- IV. 中期経営計画ならびに  
経営戦略の主な取組み状況
- V. 参考資料

# セグメント別事業概要

## 包装機械

主要品目

包装機から包装システムまで

### ・袋詰用包装機

給袋自動包装機  
(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



### ・包装関連機器等

## 生産機械

主要品目

機器からプラントまで

### ・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械

2016/9月子会社化

(7月決算)

2016/3月設立

ゼネラルパッカー

(7月決算)

蘇州日技通用包装機械(中国)

ロボット応用システムの仕入

その他関係会社; FAMS(安川電機子会社)



※12月決算

連結第2四半期 : 7月-12月

連結上必要な調整を行っています。

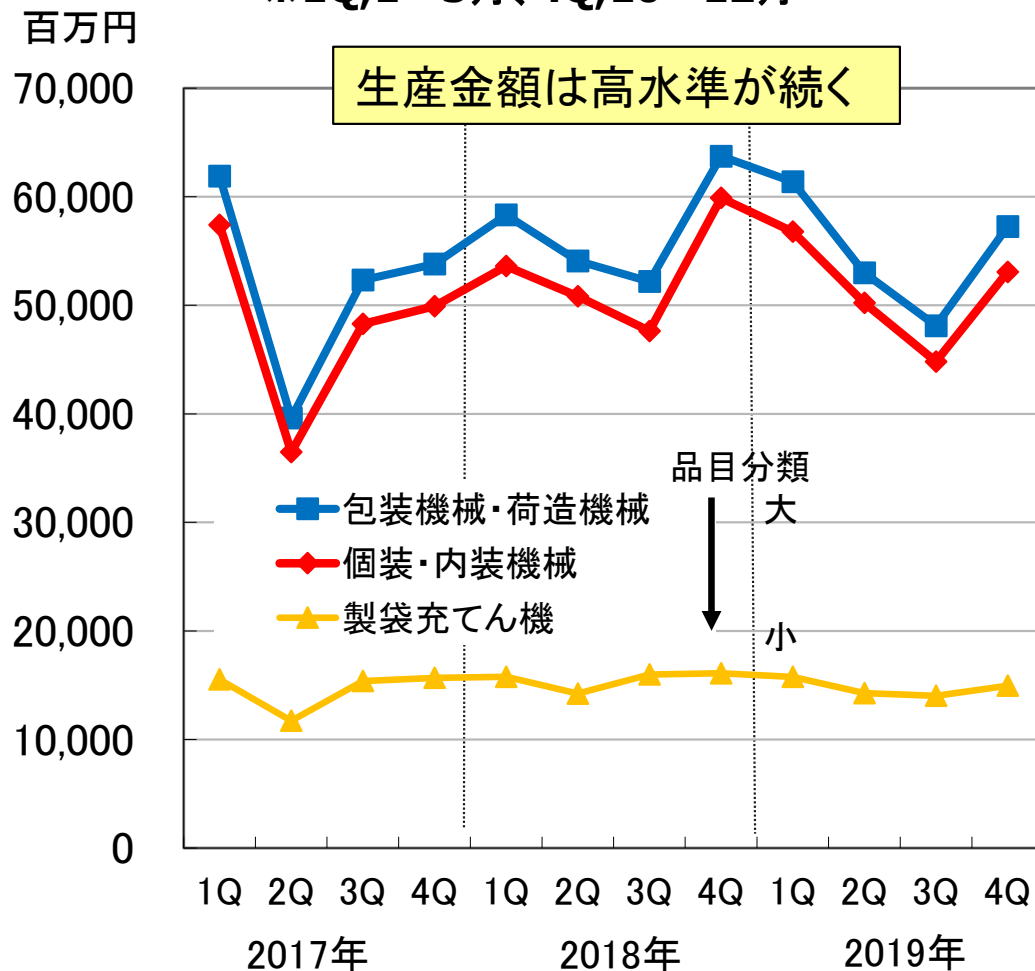
<事業内容>

野菜自動生産システム、食品自動化装置

# 事業環境 - 包装機械

経産省 生産動態統計より、当社作成  
「包装機械及び荷造機械の生産金額推移」  
(2017年1Q～2019年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



## <包装機械業界>

- 国内の包装機械需要は堅調に推移
- 輸出は、アジア地域向けが好調に推移

2019年計 生産金額	
全体	前年比 3.8%減
個装・内装機械	前年比 3.3%減
製袋充てん機	前年比 4.9%減

## 当社の主要対象市場

## <当社の動向>

- 国内市場では、食品業界向けが好調に推移し、上期機械受注高は、前年同期を上回る。
- 海外市場では、大型案件(1億円以上)の受注実績が減少したことにより、上期機械受注高は、前年同期を下回る。

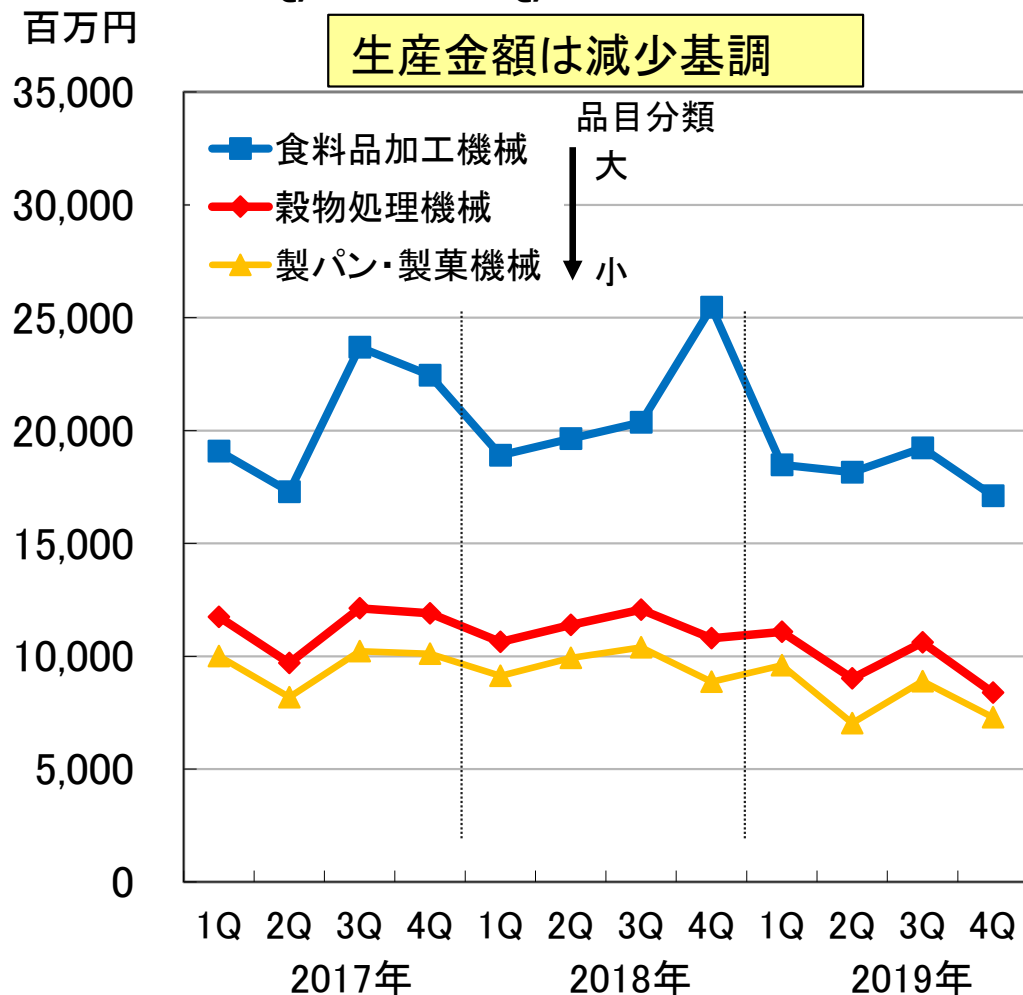
## 下期見通し

- 国内市場は堅調に推移
- 海外市場は需要拡大を見込む

# 事業環境 - 食品機械

経産省 生産動態統計より、当社作成  
「食料品加工機械の生産金額推移」  
(2017年1Q~2019年4Q)

※1Q;1~3月、4Q;10~12月



## <食品機械業界>

- 国内の食品機械需要は弱含み
- 輸出は、アジア地域向けが減少基調で推移

2019年計	生産金額
全体	前年比13.5%減
穀物処理機械	前年比12.9%減
製パン・製菓機械	前年比14.4%減

## 当社子会社の主要対象市場

## <当社子会社の動向>

- チョコレート製造機械の専門メーカー
- 設備投資需要は小規模が中心
  - 上期機械受注高は、前年同期並み

下期見通し  
大型プラント需要は少数  
高額機械の需要増加を見込む

---

# *II. 2020年7月期 第2四半期決算概況*

# 2020年7月期 第2四半期決算のポイント

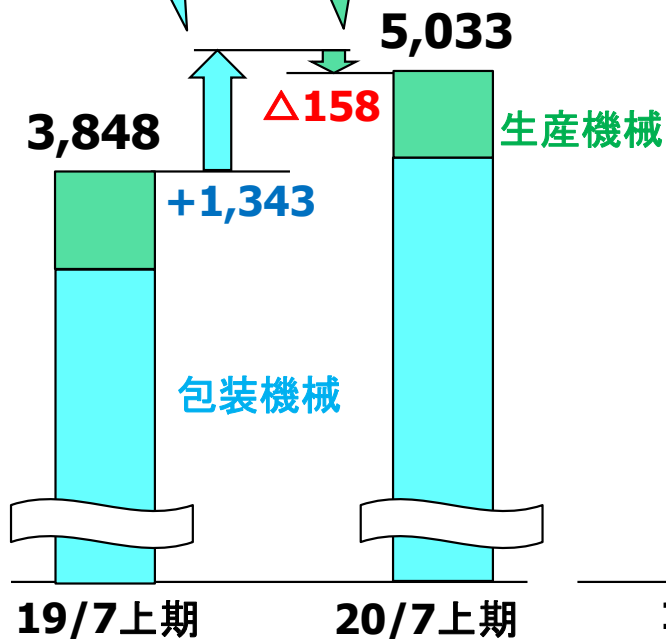
売上高  
1,184百万円の増収

営業利益増減要因(前年同期比) 141百万円の増益

(単位:百万円)

包装機械  
販売台数の増加

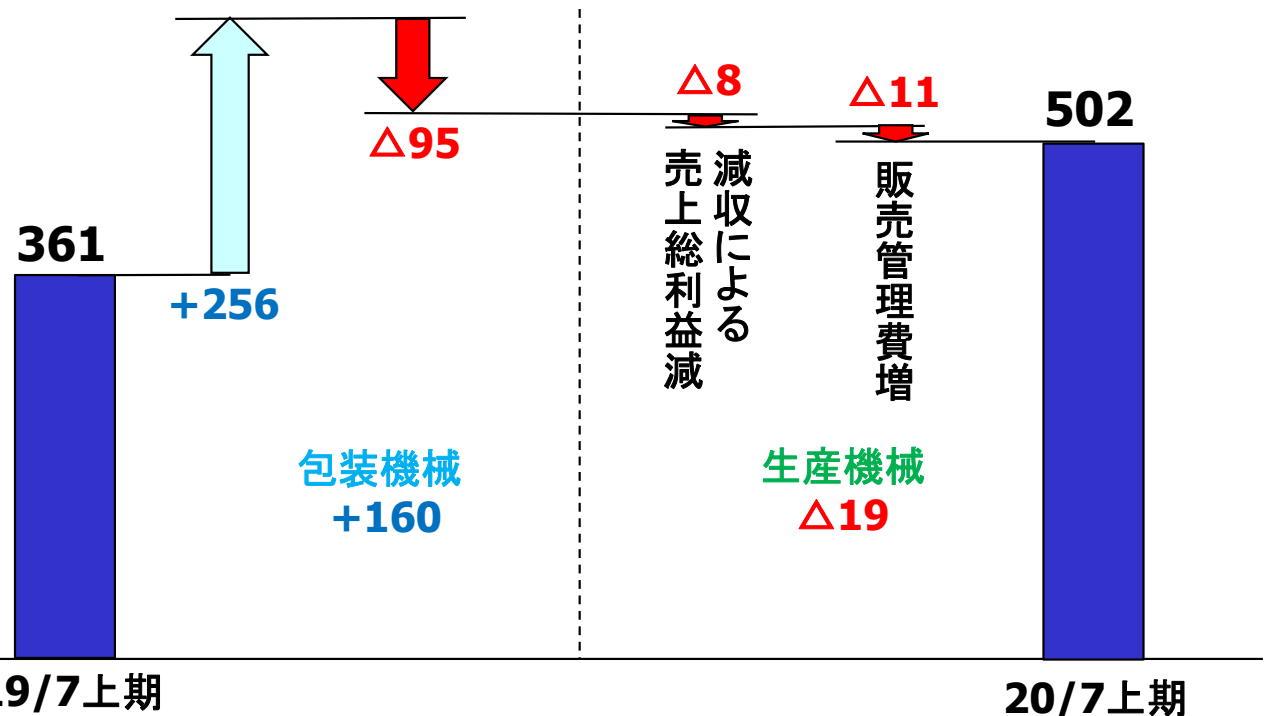
生産機械  
大型プラント関連  
付帯設備の減少



増収による  
売上総利益増

販売管理費増

展示会費用と  
開発費の増加



業績予想比; 33百万円増収、133百万円増益

# 2020年7月期第2四半期累計 連結決算概要

(単位:百万円、%)

	2019年7月期 2Q累計		2020年7月期 2Q累計		前年同期比		2020年7月期 2Q累計計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,848	100.0	5,033	100.0	+1,184	+30.8	5,000	+33	+0.7
売上総利益	1,032	26.8	1,280	25.4	+247	+24.0	1,151	+129	+11.2
営業利益	361	9.4	502	10.0	+141	+39.3	369	+133	+36.0
経常利益	363	9.4	502	10.0	+139	+38.5	370	+132	+35.9
四半期純利益	251	6.5	350	7.0	+98	+39.2	260	+90	+34.8

## 前年同期比:増収・増益

- 売上総利益は、増収により、前年同期比247百万円増加。  
売上総利益率は、包装機械の利益率低下により、前年同期から低下。
- 営業利益率は、前年同期比0.6ポイント上昇し10.0%。
- 経常利益は、計画を上回り、前年同期比139百万円増益。
- 四半期純利益は、計画を上回り、前年同期比98百万円増益。



# セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2019年7月期 2Q累計		2020年7月期 2Q累計		前年同期比		2020年7月期 2Q累計計画		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,848		5,033		+1,148	+30.8	5,000	+33	+0.7
包装機械	3,017		4,361		+1,343	+44.5	4,200	+161	+3.8
生産機械	831		672		△158	△19.1	800	△127	△16.0
※ 調整額	-		-		-	-	-	-	-
営業利益	361	9.4	502	10.0	+141	+39.3	369	+133	+36.0
包装機械	310	10.3	471	10.8	+160	+51.8	292	+178	+61.0
生産機械	50	6.0	31	4.6	△19	△38.0	76	△45	△59.5
※ 調整額	0	-	0	-	-	-	-	-	-

※ 調整額;セグメント間取引の調整

【包装機械】 増収・増益、利益率が向上。計画に対して増収・増益

【生産機械】 減収・減益、無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、利益率4.6%。

計画に対して減収・減益

【営業利益 調整額】 セグメント間取引の消去 2019年7月期 2Q累計;300千円  
2020年7月期 2Q累計;300千円

# セグメント別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2019年7月期 2Q累計	2020年7月期 2Q累計	前年同期比増減		2020年7月期 2Q累計計画
			金額	率	
包装機械	3,017	4,361	+1,343	+44.5	4,200
給袋自動包装機	1,865	3,111	+1,245	+66.7	3,071
製袋自動包装機	225	105	△120	△53.1	105
包装関連機器等	320	464	+144	+45.0	384
保守消耗部品その他	605	679	+74	+12.3	640
生産機械	831	672	△158	△19.1	800
製菓機械	756	577	△179	△23.7	722
保守消耗部品その他	74	94	+20	+26.9	78
合計	3,848	5,033	+1,184	+30.8	5,000

## 【包装機械】

◇高価格機種の販売台数が増加、包装関連機器等の前倒し実績により計画比増収

## 【生産機械】

◇大型プラントに係る付帯設備の実績が減少、高額案件の下期への繰越しにより計画比減収

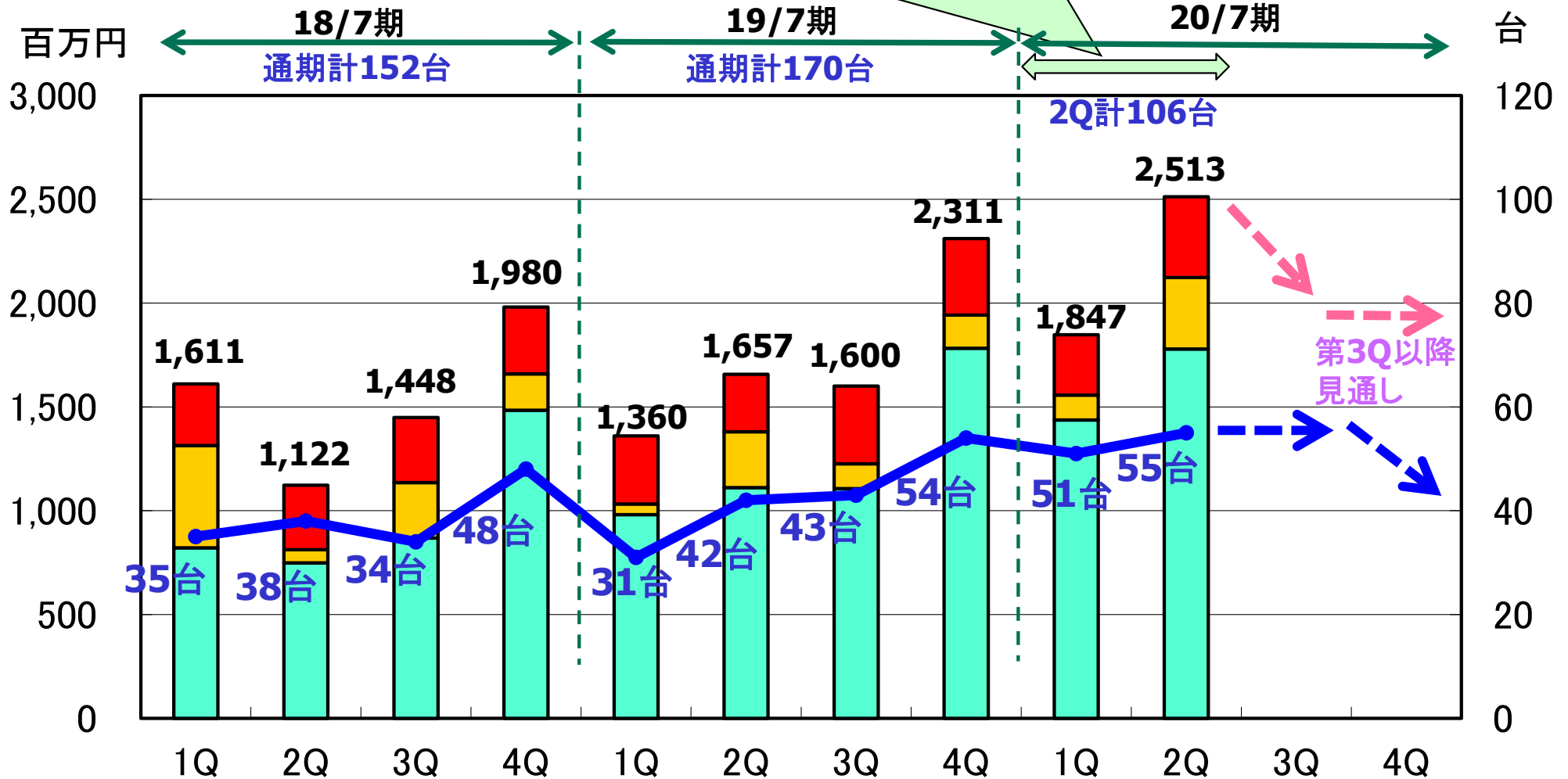
# 【包装機械】 四半期売上高推移

第2四半期累計実績

自社機販売台数 前年同期比+33台

自社機売上高 前年同期比+1,125百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



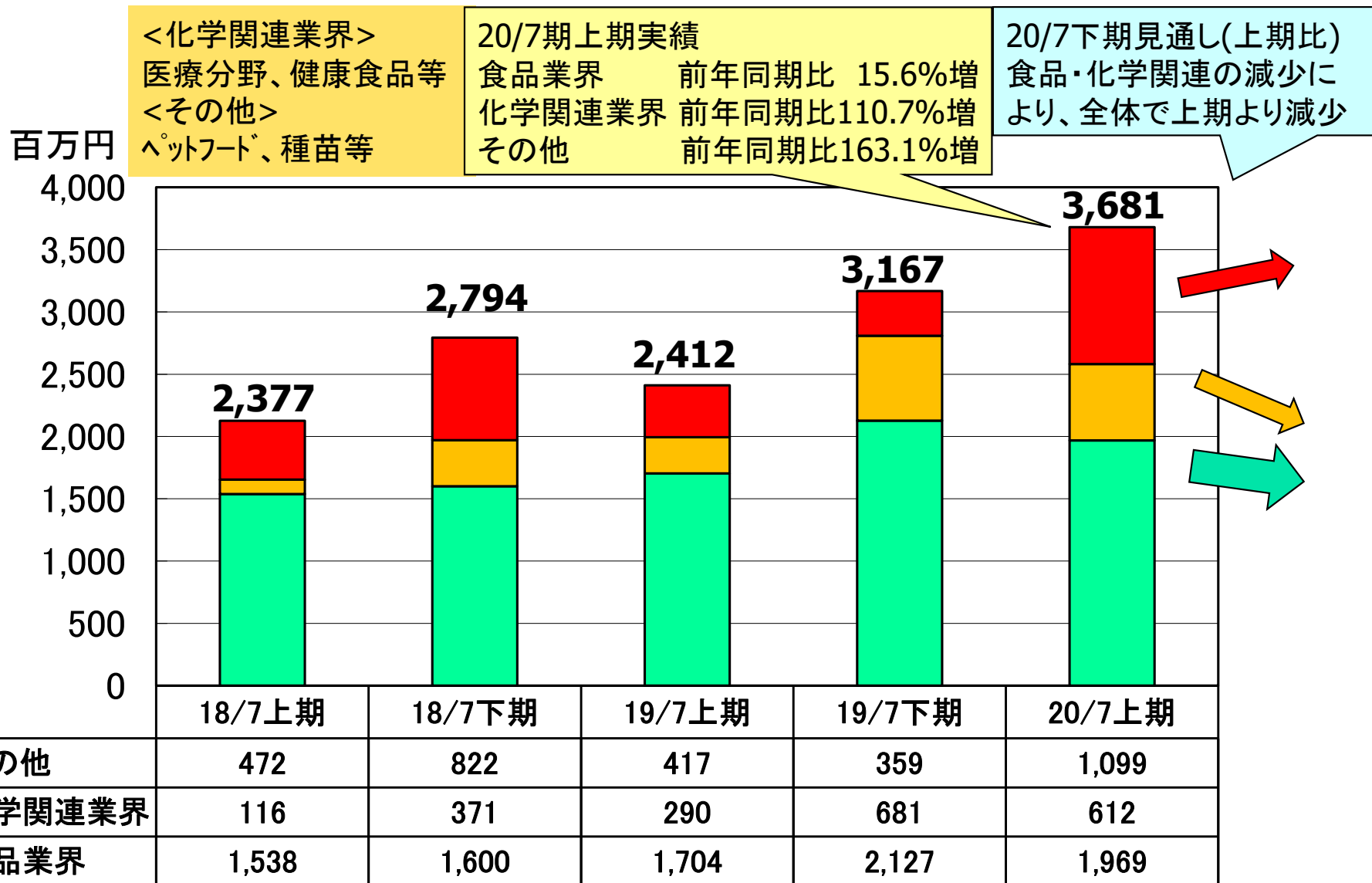
大型案件の有無、高額機種の販売台数により、  
四半期売上高は大きく変動

■ 自社機合計  
■ 保守消耗部品

■ 包装関連機器等  
● 自社機販売台数(右軸)

# 【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

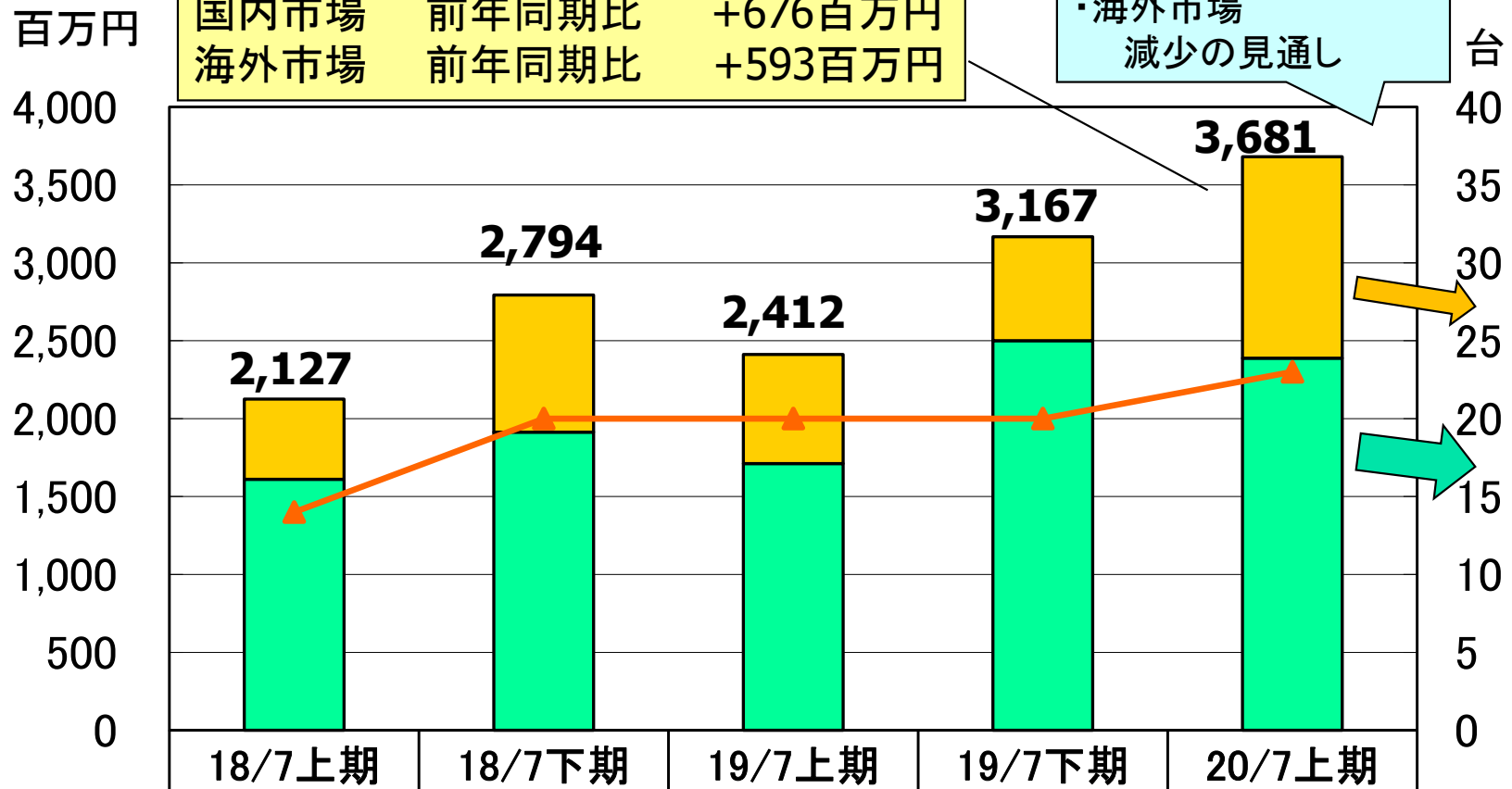
各業界向けとも増加したことから、機械売上高は前年同期比52.6%増



# 【包装機械】国内/海外市場別機械売上高 (エンユーザー市場)

20/7期上期実績  
 国内市場 前年同期比 +676百万円  
 海外市場 前年同期比 +593百万円

20/7下期(上期比)  
 ・国内市場 減少の見通し  
 ・海外市場 減少の見通し



■ 海外市場	515	879	699	667	1,292
■ 国内市場	1,611	1,914	1,712	2,500	2,388
▲ 海外向け台数	14	20	20	20	23

(自社機)

# 【包装機械】海外市場 エンユーザー地域別実績

※ 自社機台数

## 海外納入実績(18/7期～20/7期上期)

欧州 <ポーランド・フランス・ロシア>

18/7期 2台

19/7期 3台

20/7上期 1台

アジア—ASEAN 除く  
<中国・韓国・台湾・  
オーストラリア含む>

18/7期 16台

19/7期 15台

20/7上期 8台

北米・南米 <アメリカ・  
ブラジル・アルゼンチン>

18/7期 5台

19/7期 6台

20/7上期 7台

ASEAN <タイ・ベトナム・  
フィリピン・インドネシア>

18/7期 11台

19/7期 16台

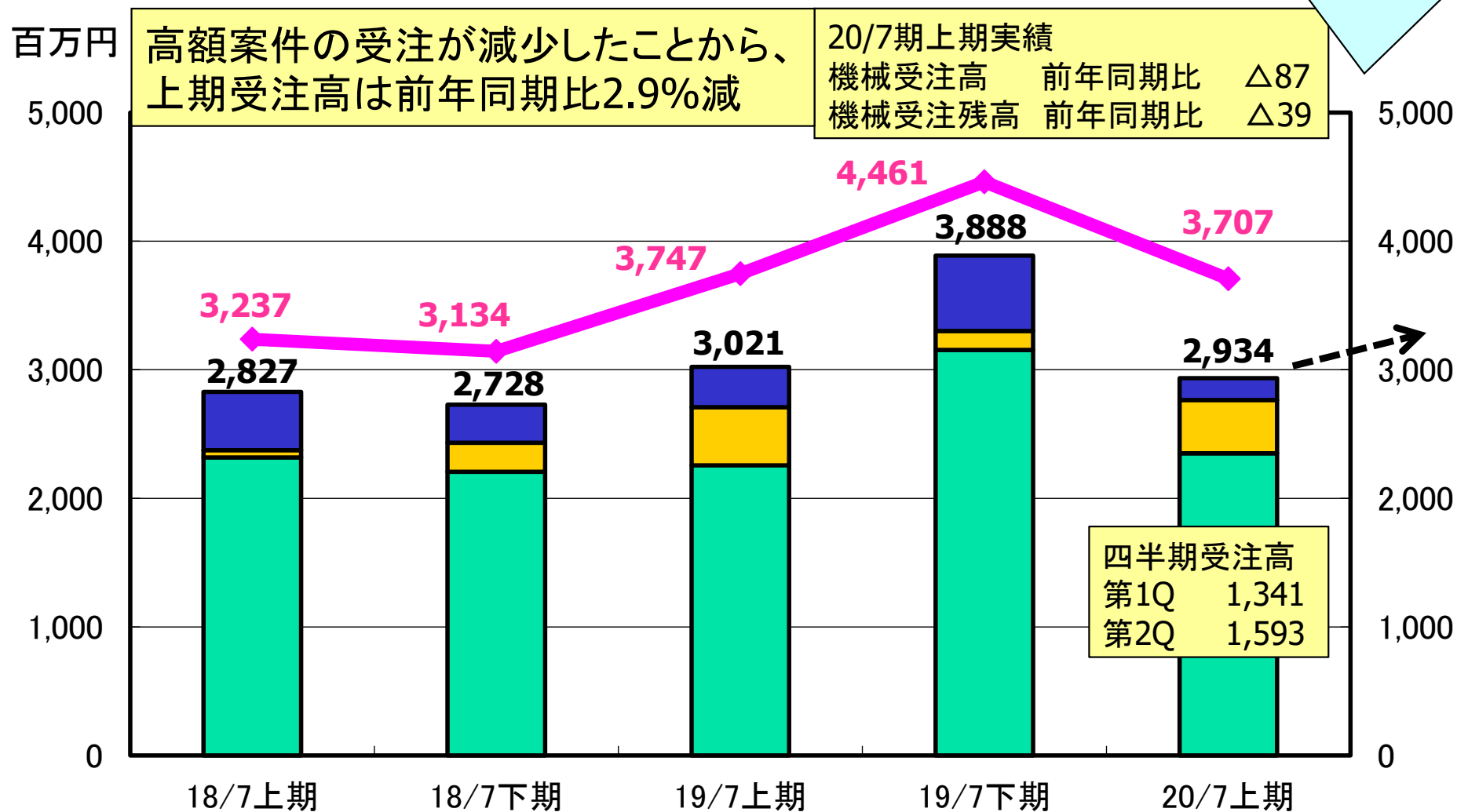
20/7上期 7台

<20/7下期予定>

タイ、アメリカ、フランス、中国、台湾 等

# 【包装機械】機械の受注動向

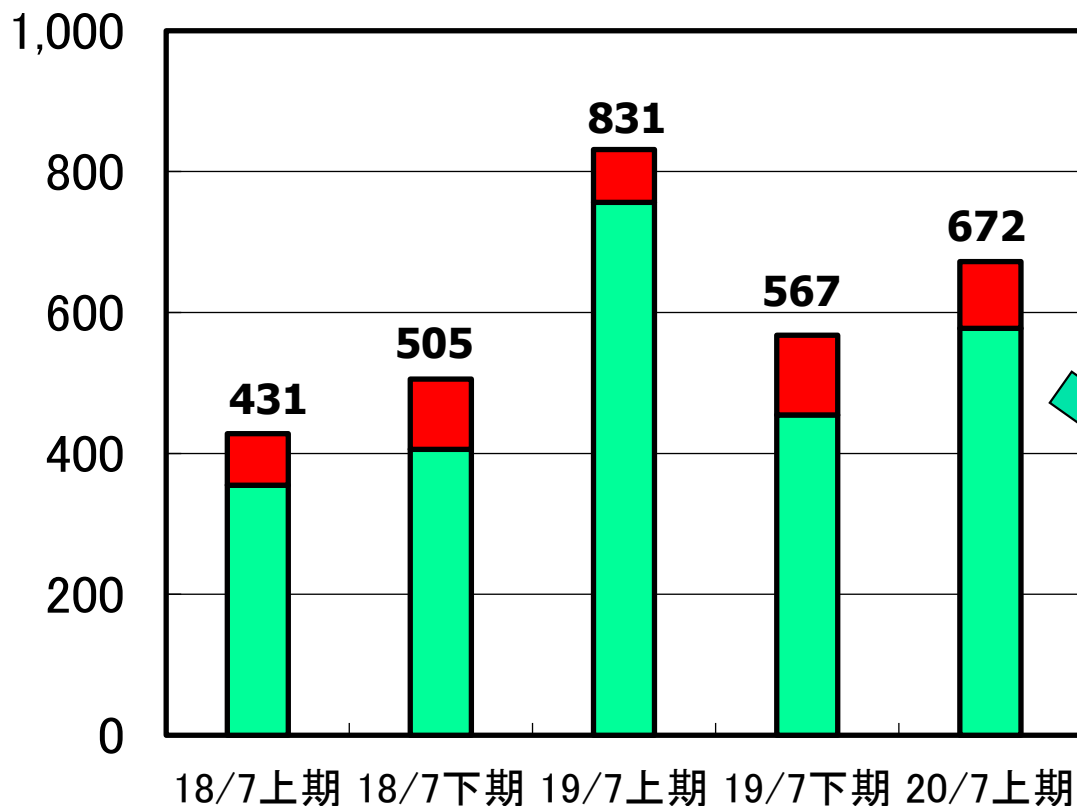
<20/7下期計画>  
高額案件の増加で、高水準の受注高を目指す



# 【生産機械】 売上高の動向

百万円

大型プラントに係る付帯設備の実績減少により、売上高は前年同期比19.1%減



20/7上期実績

製菓機械 前年同期比  $\Delta$ 179

・機械売上件数は、増加

保守消耗部品 前年同期比 +20

20/7下期(20/7上期比)  
機械が減少の見通し

■ 製菓機械 ■ 保守消耗部品

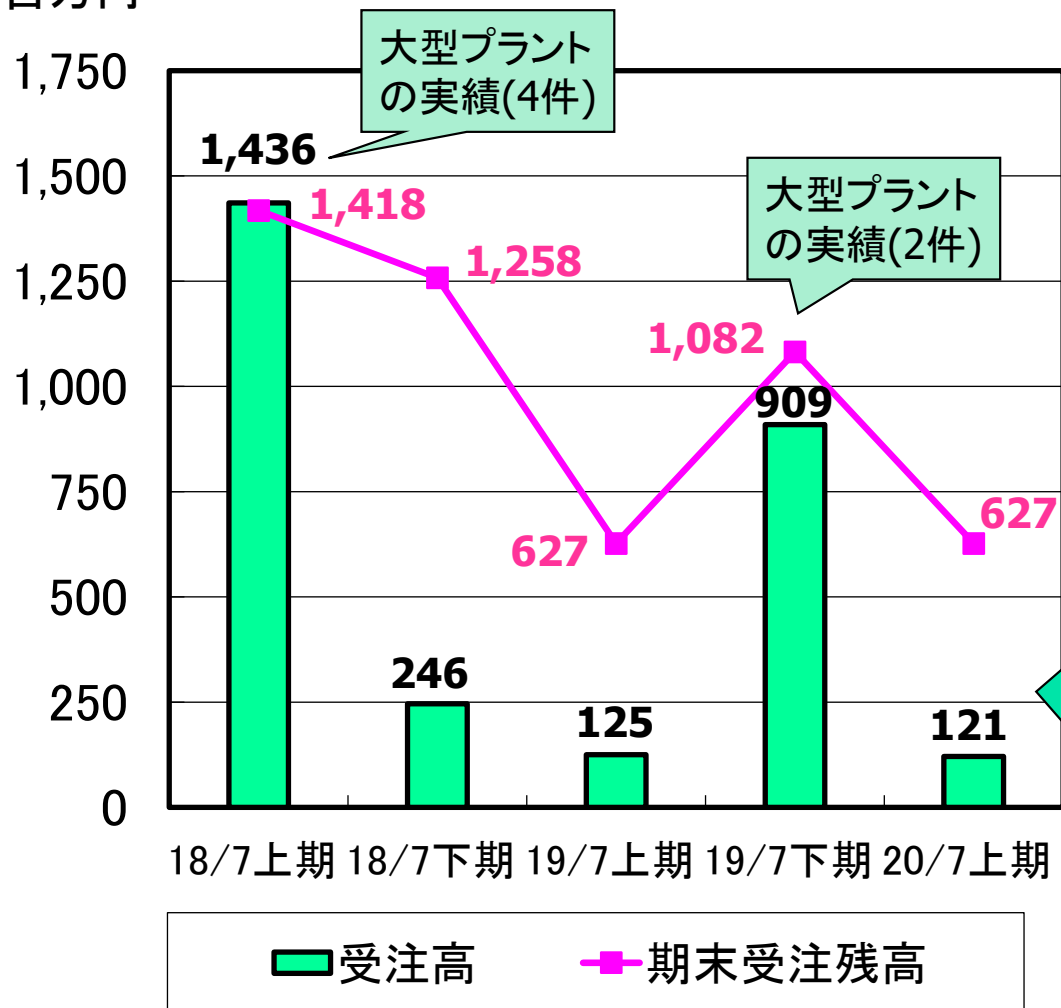
大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動



# 【生産機械】 機械の受注動向

大型プラントの実績無により、受注高は前年同期並み

百万円



20/7上期実績

機械受注高 前年同期比  $\Delta 4$

機械受注残高 前年同期比  $\Delta 0$

四半期受注高

第1Q 50

第2Q 71

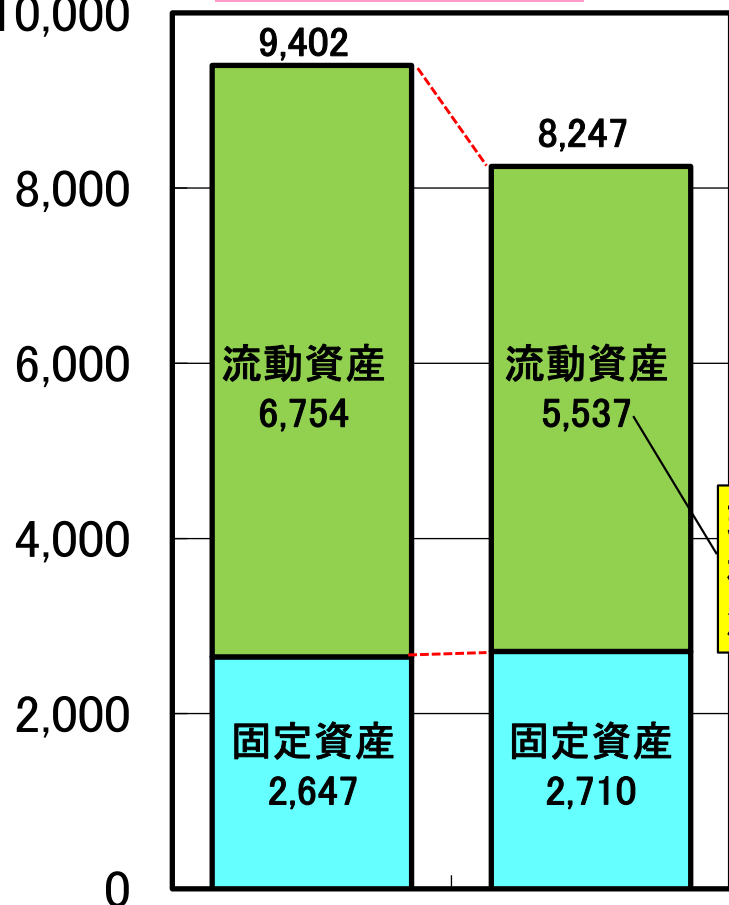
<20/7下期計画>

高額案件の件数増加を目指す

# 連結B/S 概況

百万円  
10,000

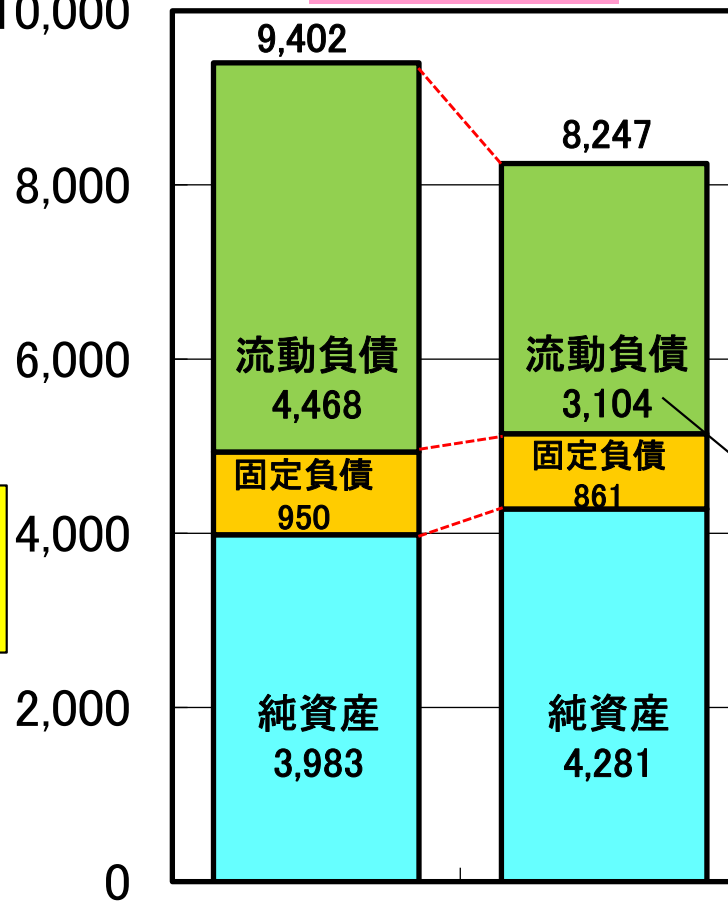
## 資産



現金預金・  
棚卸資産の  
減少

百万円  
10,000

## 負債純資産



前受金・  
仕入債務の  
減少

19/7期末

20/7期  
第2Q末

19/7期末

20/7期  
第2Q末

自己資本比率; 42.4%

51.9%

---

# *Ⅲ. 2020年7月期 通期業績見通し*

# 2020年7月期連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2019年7月期		2020年7月期 ※		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	8,327	100.0	8,900	100.0	+572	+6.9
売上総利益	2,246	27.0	2,332	26.2	+85	+3.8
営業利益	741	8.9	700	7.9	△41	△5.6
経常利益	745	8.9	700	7.9	△45	△6.1
当期純利益	524	6.3	490	5.5	△34	△6.5

※2020年7月期予想は、期初予想から上方修正しています。(2020年3月2日公表)

## 増収・減益

- 売上高は前期比6.9%増の89億円を見込む
- 売上総利益率は、前期比0.8ポイント低下し26.2%  
◇包装機械の総利益率が低下
- 営業利益率は、前期比1ポイント低下し7.9%
- 経常利益は、前期比45百万円減の700百万円を計画
- 当期純利益は、前期比34百万円減

## 期初予想比;修正額

営業利益	+101百万円
経常利益	+100百万円
当期純利益	+70百万円

# 2020年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2019年7月期		2020年7月期 ※2		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	8,327		8,900		+572	+6.9
包装機械	6,929		7,900		+970	+14.0
生産機械	1,398		1,000		△398	△28.5
※1 調整額	△0	-	-	-	-	-
営業利益	741	8.9	700	7.9	△41	△5.6
包装機械	683	9.9	674	8.5	△9	△1.4
生産機械	57	4.1	25	2.5	△32	△56.2
※1 調整額	0	-	0	-	0	-

※1 調整額;セグメント間取引の調整

※2 2020年7月期予想は、2020年3月2日公表の業績予想修正時の数値です。

- 【包装機械】 増収・減益、利益率は前期比1.4ポイント低下  
 ◇低採算案件の増加、販売管理費の増加  
 【生産機械】 減収・減益、利益率は前期比1.6ポイント低下

## 期初予想比;修正額

### 【包装機械】

売上高 +200百万円

営業利益 +151百万円

### 【生産機械】

売上高 △200百万円

営業利益 △50百万円

# 2020年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2019年7月期		2020年7月期 ※		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	6,929	83.2	7,900	88.8	+970	+14.0
給袋自動包装機	4,382	52.6	5,315	59.8	+932	+21.3
製袋自動包装機	598	7.2	535	6.0	△63	△10.6
包装関連機器等	599	7.2	750	8.4	+150	+25.2
保守消耗部品その他	1,348	16.2	1,300	14.6	△48	△3.6
生産機械	1,398	16.8	1,000	11.2	△398	△28.5
製菓機械	1,211	14.5	820	9.2	△391	△32.3
保守消耗部品その他	187	2.3	180	2.0	△7	△4.1
合計	8,327	100.0	8,900	100.0	+572	+6.9

※ 2020年7月期予想は、2020年3月2日公表の業績予想修正時の数値です。

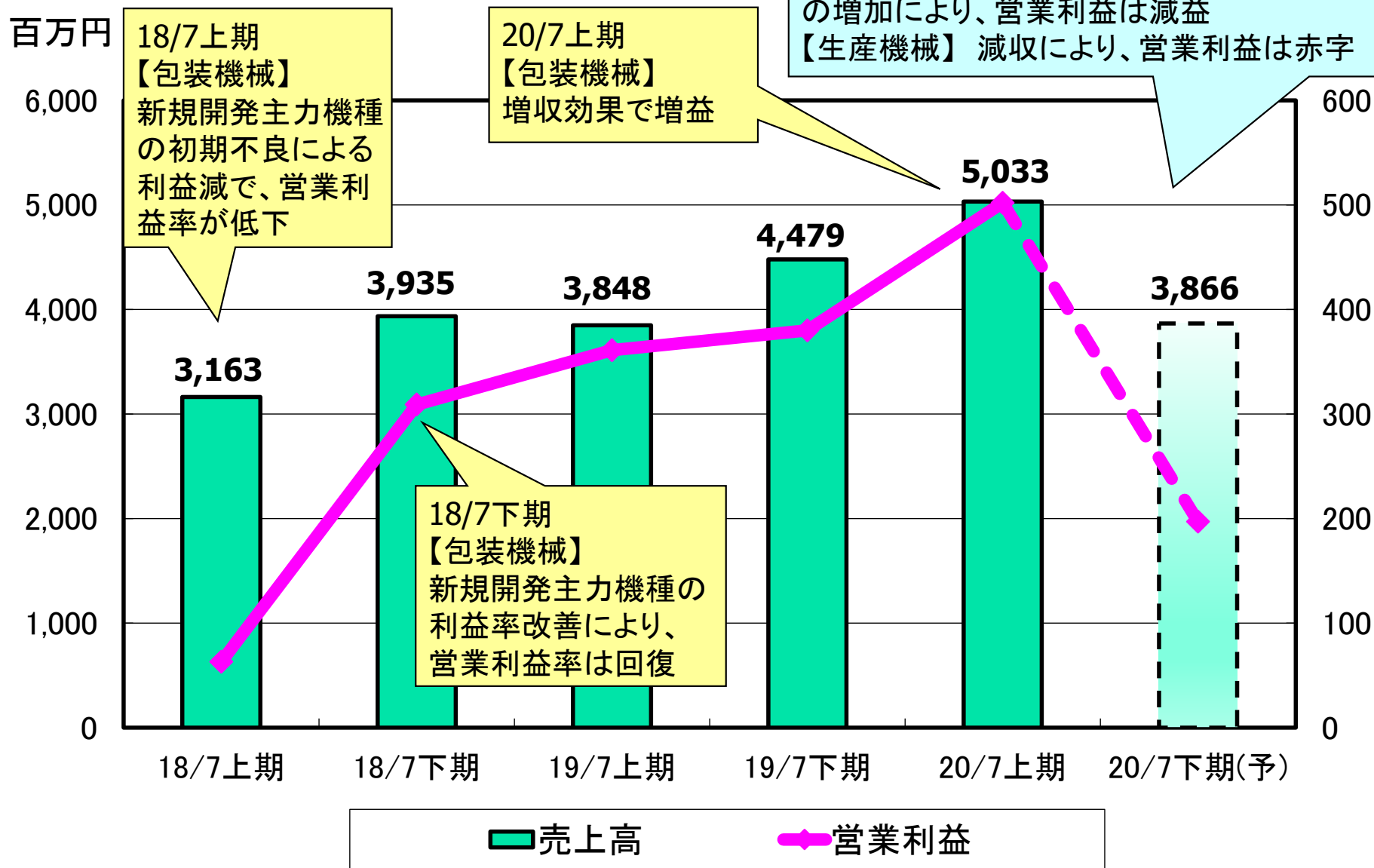
## 前期比：+572百万円、6.9%

【包装機械】 給袋自動包装機の増加により、増収  
 ◇新規開発機種(高価格)の販売台数増加が寄与  
 【生産機械】 大型プラントの減少により、減収

期初予想比  
 給袋・製袋自動包装機が増加  
 製菓機械が減少

# 2020/7期下期業績予想

<20/7下期見通し>  
 営業利益率が低下する見込み  
 【包装機械】 上期に対し、減収と販売管理費の増加により、営業利益は減益  
 【生産機械】 減収により、営業利益は赤字



# 株主還元

## 中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向**30%**または連結純資産配当率(DOE)**2%**を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2017/7期 (連結)	2018/7期 (連結)	2019/7期 (連結)	2020/7期予想 (連結)
中間配当	20.00円	20.00円	25.00円	25.00円
期末配当	20.00円	24.00円	30.00円	※ 30.00円
年間配当	40.00円	44.00円	55.00円	55.00円
当期純利益／株	106.27円	146.87円	296.88円	277.38円
配当性向	37.6%	30.0%	18.5%	19.8%
DOE	2.1%	2.2%	2.6%	2.2%

※2020年7月期予想の期末配当は、期初予想から5円増額しています。(2020年3月2日公表)



---

# *IV. 中期経営計画ならびに 経営戦略の主な取組み状況*

# 第5次中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)

## ◆中期経営ビジョン

連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期

1. 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
2. オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

## ◆中期数値目標

第4次中計実績

■連結経営目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高経常利益率	4.5%		6.0%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.3%		6.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%		10.0%以上

■連結業績目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高	6,651百万円		8,900百万円
経常利益	297百万円		600百万円
当期純利益	188百万円		420百万円

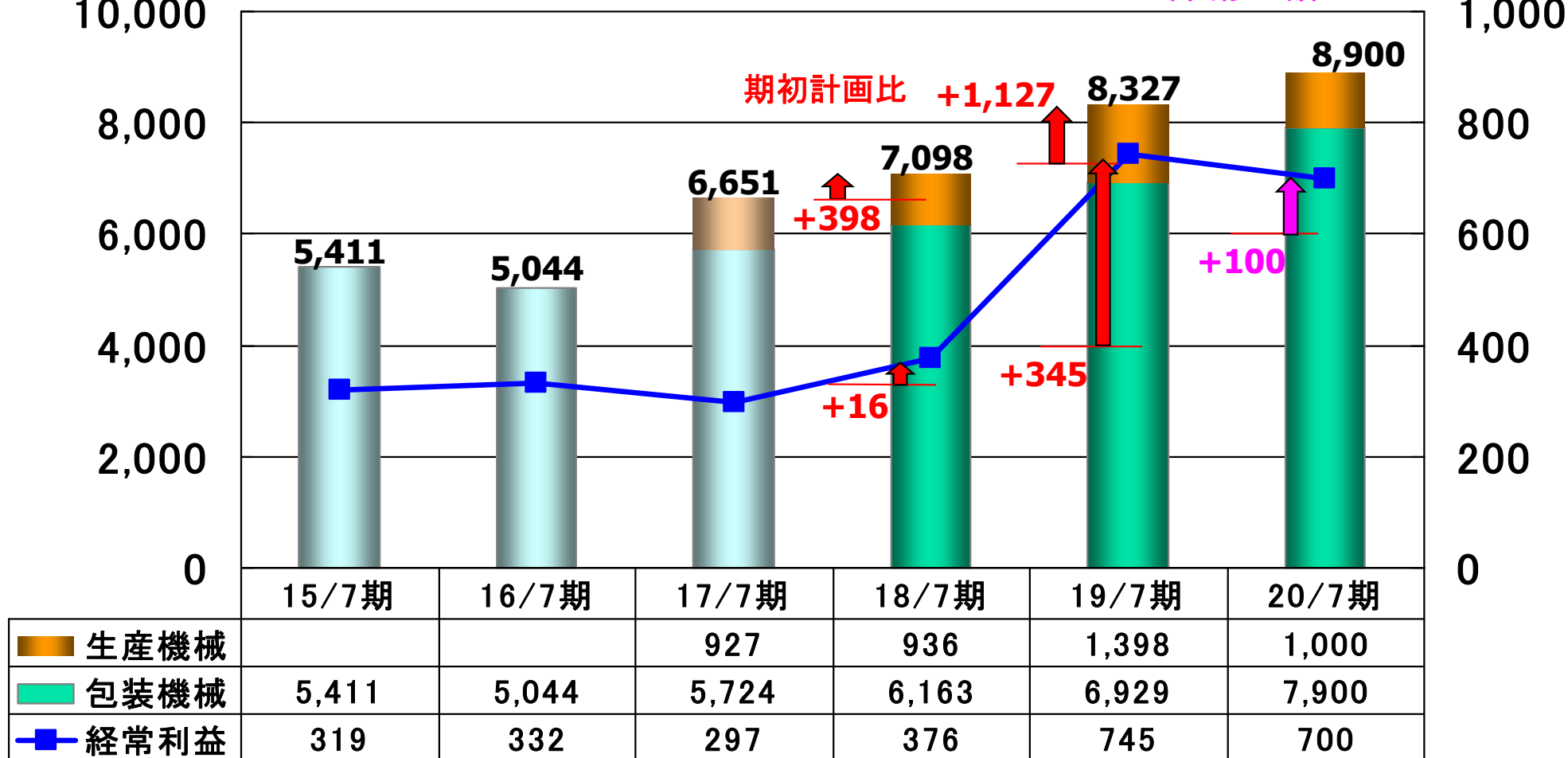
# 業績計画

利益率の向上と収益の拡大に注力

売上高 (百万円)

経常利益  
1,000

今回修正額



← 第5次計画 →

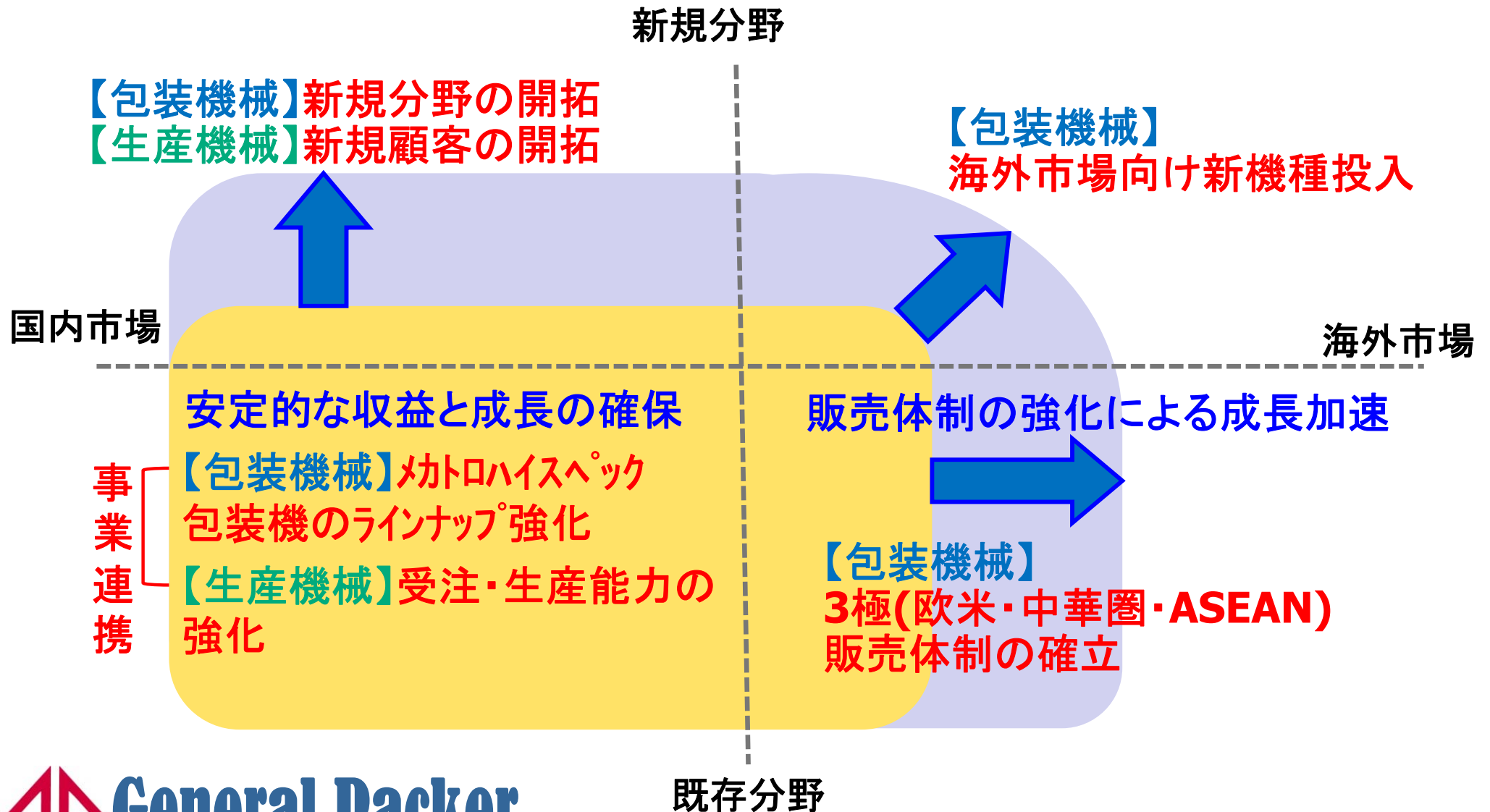
※2015年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

# 事業計画モデル(第5次中計)

売上高(単位:百万円)	17/7期実績	18/7期実績	19/7期実績	20/7期予想
<b>【包装機械】</b>	5,724	6,163 (+263)	6,929 (+729)	7,900 (+200)
内;国内市場(機械)	3,218	3,526 (+426)	4,213 (+913)	4,200 (+200)
内;海外市場(機械)	1,022	1,395 (△105)	1,367 (△236)	2,400
<b>【生産機械】</b>	927	936 (+136)	1,398 (+398)	1,000 (△200)
内;製菓機械	792	763 (+98)	1,211 (+351)	820 (△225)
<b>合計</b>	<b>6,651</b>	<b>7,098</b> (+398) (期初計画比)	<b>8,327</b> (+1,127) (期初計画比)	<b>8,900</b> (今回修正額)

# 基本戦略

「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」



## 基本戦略

- ①包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- ②販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率**20%**以上を目指す
- ③世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- ④メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- ⑤生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

# 【包装機械】販売戦略

## 国内市場; 安定的な収益と成長の確保

### ■メカトロハイスペック包装機の拡販

・高機能給袋自動包装機 **GP-M3000型**

受注は好調に推移

・シリーズ機種の販売 **GP-M3550型 (高速充填包装)**

**20/7期上期 受注実績 1台**

### ■自社包装機受注

**20/7期上期 受注高 23億円(前年同期比 2.2億円増)**

**受注台数 86台(前年同期比 17台増)**

下期

■オプション機能の充実

■新機種の投入

## ソリューションビジネスの拡大

### ■新規納入先の開拓

**20/7期上期 受注実績2社**

### ■高額システム(30百万円以上)の受注実績

	18/7期	19/7期	20/7期上期
受注件数	<b>6件</b>	<b>5件</b>	<b>3件</b>
業種	食品(5件) 医療(1件)	食品(3件)、種苗(1件)、 ペットフード(1件)	食品、種苗、 ペットフード

内2件; システムの一部は、ロボット応用システムを納入

# 【包装機械】販売戦略

## 海外事業の拡大

- 中国子会社; 蘇州日技通用包装机械有限公司(中国・常熟市) (16/3月設立)

20/7期上期 売上高 1.9億円(前年同期比1.4億円増)

・大型ラインの実績

- 販売体制の強化

・既存代理店(8社)の販売支援  
アメリカ代理店 販売台数増加



下期  
アメリカ市場・中国市場の開拓強化

- 自社包装機受注 (単体)

20/7期上期 受注高 3.4億円(前年同期比 2.3億円減)

受注台数 15台(前年同期比 1台増)

高額案件の減少

- 新規顧客開拓の受注実績 (エンドユーザー)

18/7期	19/7期	20/7期上期
13社 タイ、台湾、中国、ベトナム、 インドネシア、アメリカ	11社 タイ、中国、ベトナム、 アルゼンチン、アメリカ	2社 カナダ、イタリア



# 【包装機械】開発・技術戦略

## ■ 開発テーマ <第5次中計>

- ①メカトロハイスペック包装機と海外市場向け新機種の開発
- ②コア技術の強化
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

## ■ 新機種開発

### メカトロハイスペック包装機のシリーズ開発

製袋式機種の開発	20/7期完成予定
2連高速機の開発	20/7期完成予定

### 業種ニーズに対応した新機種の開発

小袋用新機種の開発	19/7期完成 ⇒ 新バージョンの開発	20/7期上期完成
2連高速新機種の開発	20/7期上期完成	

# 【生産機械】

## 受注体制と新規顧客開拓の強化

### ■ 受注活動

- ・大型プラントの受注  
20/7期上期 0件(前年同期0件)

### ■ 包装機械との事業連携

- ・親会社からの営業、技術支援
- ・親会社営業と情報共有、同行訪問
- ・展示会へ共同出展

### ■ 新規開拓

20/7期上期 受注実績 2件(機器)  
(前年同期2件)



下期; 受注活動強化  
各種機器の新型機投入

## 内部管理体制の強化

- 人材確保・育成 等

---

# V. 參考資料

# 包装機械業界

単位:億円

主な上場企業  
 専業メーカー:東京自動機械製作所  
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

機種別	生産高
<b>個装・内装機械</b>	<b>3,955</b>
包装用計量機	280
充てん機	529
びん詰機械	719
製袋充てん機	734
真空包装機	99
その他	1,591
<b>外装・荷造機械</b>	<b>692</b>
ケース詰機	216
その他	476
<b>合計</b>	<b>4,648</b>

・輸出 12.0%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

前年度比  
4.3%増  
9年連続増

(一社)日本包装機械工業会  
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」  
 2018年度実績(18/4月～19/3月)

当社:包装機械の専業メーカー  
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化  
 ◇高品質・高難易度の包装分野  
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)  
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力  
 ※ナブテスコ連結子会社  
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

# 食品機械業界

単位:億円

主な上場企業  
 兼業メーカー:レオン自動機、  
 鈴茂器工 等

機種別	販売額
精米麦機械	146
製粉機器	130
製めん機械	102
製パン・製菓機械	1,422
醸造用機械	168
乳製品加工機	660
飲料加工機械	244
肉類加工機械	267
水産加工機械	170
その他食品機械	2,505
<b>合計</b>	<b>5,761</b>

・輸出 7.8%

製菓機械

オサ機械(子会社)  
の区分

前年比  
1.0%増  
7年連続増

(一社)日本食品機械工業会  
 「食品機械統計」  
 2018年実績(18/1月～18/12月)

オサ機械:チョコレート製造機械の専門メーカー  
 ■創業以来80年以上、蓄積された豊富な経験  
 ◇チョコレート製造全般  
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先  
 ・谷沢菓機工業(非上場)  
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、  
 米菓機械

# 会社概要(2020年1月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 1,798,800株
- 売買単位 100株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売  
製菓機械の製造・販売
- 従業員数 単体;149名(その他臨時雇用者37名)  
連結;179名(その他臨時雇用者51名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所
- 子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械
- 役員 取締役 5名  
社外取締役(監査等委員) 4名

証券コード;6267  
東証JASDAQ・名証二部

## ■ 企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

# 事業内容

国内市場

海外市場

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の  
包装用機械・システム

主要ユーザー

食品業界

化学関連業界

その他

製粉

製麺

精米

製氷

食品全般

健康食品

医療用品

ペットフード

製パン

製菓

削節

製茶

コーヒー

洗剤

種苗

食品業界の各大手上位への  
顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野  
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野  
・チャック付袋包装  
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

販売

直販が中心

業界上位が中心

販売

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から  
プラントまで

生産機械

個別受注生産

包装機械

袋詰用包装機から包装システムまで

チョコレート製造機械

製菓機械等

開発・設計・製造

給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

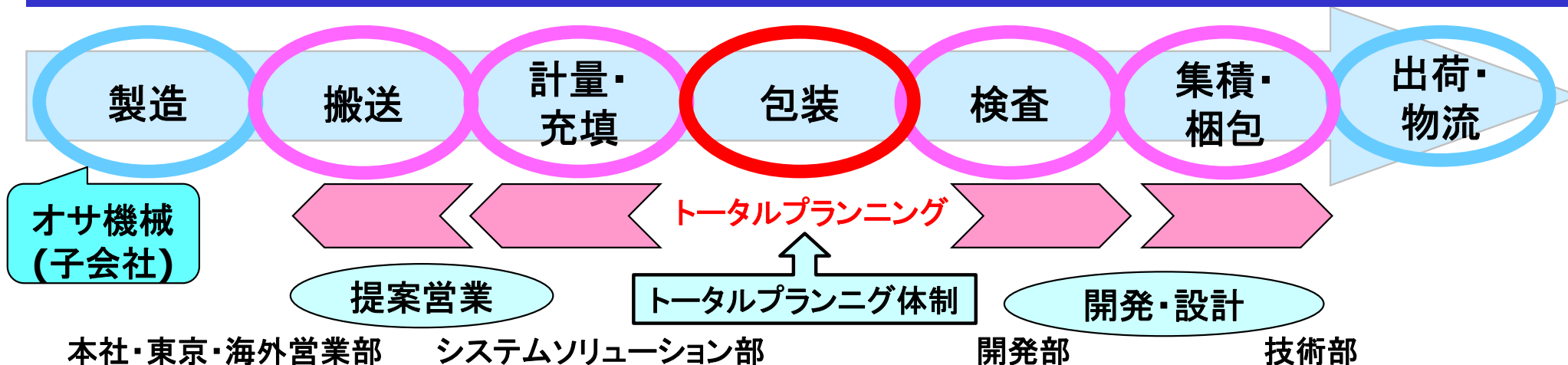
製袋自動包装機

包装関連機器等

仕入

# (経営ビジョン)

オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

※パート、嘱託、派遣

## 人員推移(単体)

	15/7期末	16/7期末	17/7期末	18/7期末	19/7期末	20/1期末
従業員	131	135	139	147	155	149
(内 開発・技術部人員)	(42)	(42)	(43)	(44)	(45)	(42)
臨時雇用者※	19	18	23	26	32	37
合計	150	153	162	173	187	186
連結人員合計(臨時雇用者含む)			193	212	233	230

# 包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

## 当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話：0568-23-3111

FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp

